

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 19 年 10 月 4 日 (2007.10.4)

【公表番号】 特表 2007-507296 (P2007-507296A)
 【公表日】 平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)
 【年通号数】 公開・登録公報 2007-012
 【出願番号】 特願 2006-533997 (P2006-533997)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 17/58 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/58 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 8 月 14 日 (2007.8.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 請求項 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

請求項 1 2 に記載の骨折整復装置であって、

前記係止用ねじの各々が、3 つのリードのねじ部を備えた頭部と、単一のリードのねじ部を備えた軸部とを含んでいて、前記係止用ねじの全てのねじ部がほぼ等しいピッチを有していることを特徴とする装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 請求項 1 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【請求項 1 7】

骨折を整復するための方法であって、

(a) 骨プレートを、当該骨プレート内に挿入されたねじによって骨に結合し且つ骨折の第 1 の側の骨と係合させることと、

(b) 圧縮用ねじを骨プレートの穴内に挿入し且つ骨折の対向側の骨と係合させて骨及び周囲組織の位置を調整すること（当該骨プレートは、上面と、骨接触面と、前記上面及び骨接触面内を貫通している複数の穴とを含んでおり、各穴は、係止用ねじと圧縮用ねじとを交換可能に受け入れる形状とされており且つ穴の周囲に完全な一回転を形成しているねじ部を含んでいる）と、

(c) 前記圧縮用ねじを前記穴から取り外し且つ骨と係合させることと、

(d) 前記係止用ねじを前記穴内に挿入して骨と係合させて前記骨プレートの位置（当該位置において前記穴のねじ部は前記係止用ねじの頭部のねじ部を完全に包囲する）を固定することを含むことを特徴とする方法。